

住家被害認定調査票 地震 木造・プレハブ 第1次A		調査票番号 201806200111	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	平成 30年 6月 20日		
1 調査時	10:10 ~ 10:25		
調査員	ぼうさい たろう / ふっこう はな子		
所在地	××××× △番地一〇		
世帯主	××× ×××		
2 住家	☒ 住家である(居住のために使用されている)		

4 応急危険度判定	☒ 危険 ☐ 要注意 ☐ 調査済 ☐ 不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記 外壁にはく落
-----------	---	---

5 外観	☐ 住家全部が倒壊 ☐ 住家の一部の階が全部倒壊 ☐ 一見して住家全部が流出又はずり落ち ☐ 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 ☐ 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当 ☐ 判定へ(全壊)
------	---	---

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	
	水平距離(cm)	2.1	2.4	2.5	1.4	2.1	6cm以上(下げ振り120cmの場合) 傾斜率75%以上 ☐ 判定へ(全壊)

7 躯体	☐ 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	☐ 判定へ(全壊)
------	--	----------------------------------

損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
8 基礎 損害割合	0	1	②	4	6	7

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
9 壁 無被害	0	①	0	0	0	0
程度Ⅰ	1	②	3	5	6	8
程度Ⅱ	2	4	⑧	11	15	19
程度Ⅲ	4	⑧	15	23	30	38
程度Ⅳ	6	11	23	34	45	56
程度Ⅴ	8	15	30	45	60	75

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
10 屋根 無被害	0	0	0	0	①	0
程度Ⅰ	0	①	1	1	1	2
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15

【損害割合算出表】 (注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

8基礎				+9壁	+10屋根	= 計あ	6傾斜				+10屋根	= 計い			
傾斜無	2		18		0		20		傾斜有	15		0		15	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	20	☐ 半壊に至らない	☒ 半壊	☐ 大規模半壊	☐ 全壊

住家被害認定調査票 地震 木造・プレハブ 第1次B		調査票番号 201806200111	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	平成 30年 6月 20日		
1 調査時	13:20 ~ 13:30		
調査員	ぼうさい たろう / ふっこう はな子		
所在地	××××× △番地—〇		
世帯主	××× ×××		
2 住家	☒ 住家である(居住のために使用されている)		

4 応急危険度判定	☒ 危険 ☐ 要注意 ☐ 調査済 ☐ 不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記 ブロック塀傾、コメント撮影
-----------	---	---

5 外観	☐ 住家全部が倒壊 ☐ 住家の一部の階が全部倒壊 ☐ 一見して住家全部が流出又はずり落ち ☐ 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 ☐ 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当	☐ 判定へ(全壊)
------	---	---------	----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上(下げ振り120cmの場合) 損傷率75%以上	☐ 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)	1.5	1.4	2.7	2.4	2.0		

7 躯体	☐ 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	☐ 判定へ(全壊)
------	--	----------------------------------

8 基礎	損害割合	無被害	1	2	4	6	7
------	------	-----	---	---	---	---	---

9 壁	損害割合	無被害	8	15	30	45	75
-----	------	-----	---	----	----	----	----

10 屋根	損害割合	無被害	2	3	6	9	15
-------	------	-----	---	---	---	---	----

(備考)

【損害割合算出表】

☒ A「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である ☐ B「9壁」の損害割合が無被害又は8である		Aに該当かつBに該当(傾斜有を計算) 上記以外(傾斜無を計算)						
傾斜無	8基礎	+ 9壁	+ 10屋根	= 計	傾斜有	6傾斜	+ 10屋根	= 計
	4	30	6	40		15	6	21
判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上			
	40	☐ 半壊に至らない	☐ 半壊	☒ 大規模半壊	☐ 全壊			

住家被害認定調査票 地震 木造・プレハブ 第2次-1		調査票番号 201806200411	3 外観 ☐ 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 ☐ 住家全部が流出又はずれ落ち ☐ 地盤被害により基礎に著しい損傷 ☐ 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	☐ 判定へ (全壊)
調査日	平成 30年 6月 20日		4 傾斜 水平距離 (cm) ① 2.0 ② 2.3 ③ 2.4 ④ 2.3 平均値 2.3	☐ 判定へ (全壊) 6cm以上 (下げ振り 120cmの場合)
1 調査時	10:00 ~ 11:00			
調査員	ぼうさい たろう / ふっこう はな子			
所在地	××××× △番地			
世帯主	××× ×××			
2 住家	☒ 住家である(居住のために使用されている)			
5 基礎	損傷長 (m) 4 全長 (m) 40 損傷率 = 損傷長 / 全長 × 100 = 10	損傷率 75%以上	☐ 判定へ (全壊)	
6 柱(又は耐力壁)	☐ 柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上		損傷率 75%以上	☐ 判定へ (全壊)

該当しない場合は2頁「7」以降へ

【損害割合算出表】

(注) d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (傾斜が2cm以上) 傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※		b×1.25	c×0.5		
9 外壁	10	2.8	1.5	4	3.5	0.75	4	4
10 内壁	10	1.4	0.6	2	1.75	0.3	2	2
11 床 (階段舎)	10	0.7	0.9	2	0.875	0.45	1	2
5 基礎	10	「5.基礎」の損傷率×0.1		1				
12 柱(又は耐力壁)	15	3.5	1.8	5	4.375	0.9	5	
13 屋根	15	1.5	1.5	3	1.875	0.75	3	3
14 天井	5	0.7	0.6	1	0.875	0.3	1	1
15 建具	15	0	0	0	0	0	0	0
16 設備	10	3	1	4	3.75	0.5	4	4
		※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。						15%
		計		あ	22	い	21	う
								31

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	31	☐ 半壊に至らない	☒ 半壊	☐ 大規模半壊	☐ 全壊

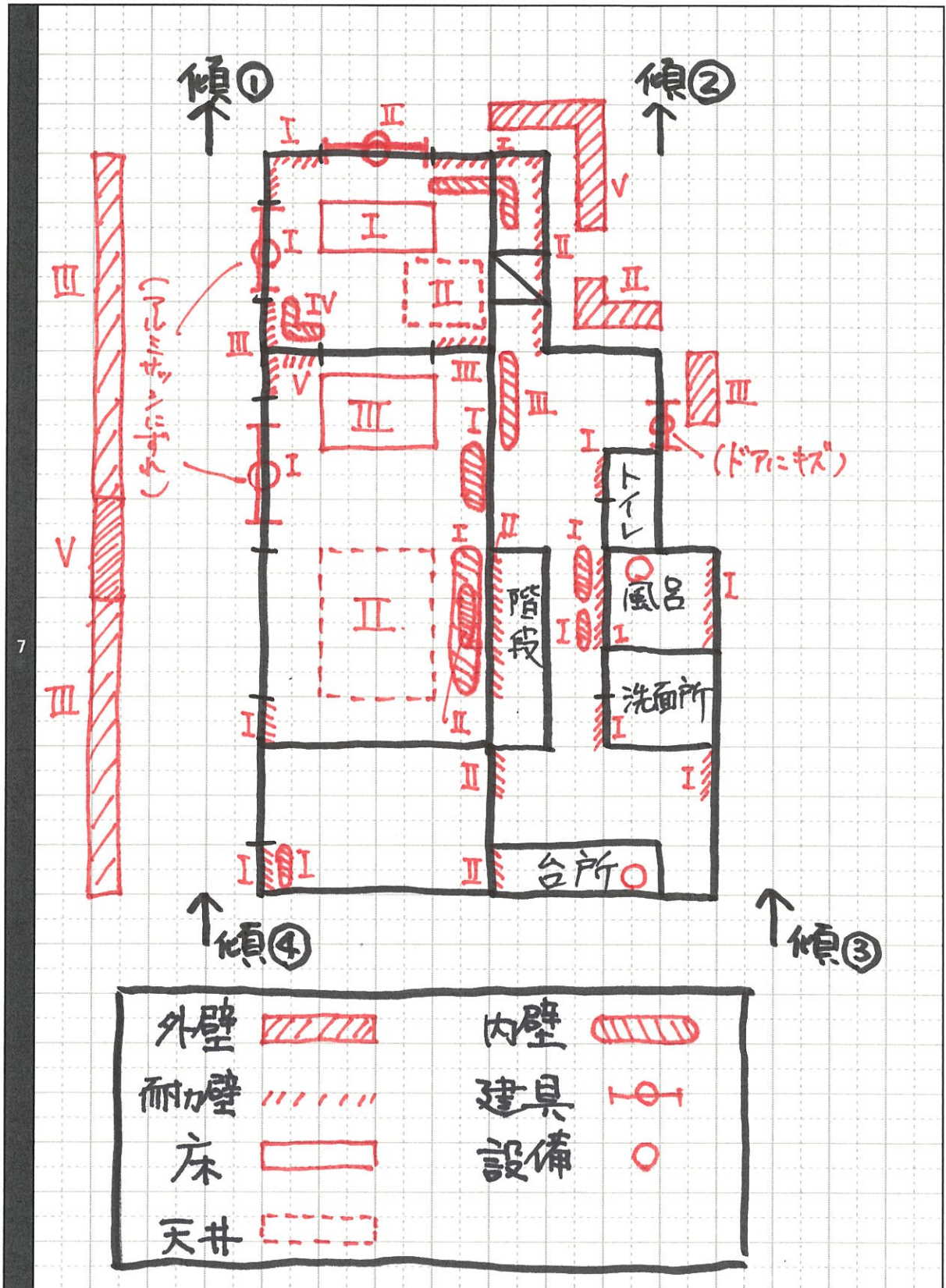
住家被害認定
調査票
地震
木造・プレハブ
第2次-2

調査票
番号

201806200411

主要階・その他階

(1)階平面図・屋根伏図



住家被害認定
調査票
地震
木造・プレハブ
第2次-2

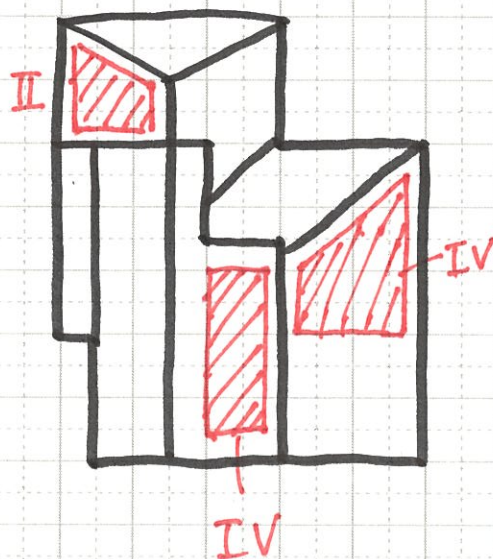
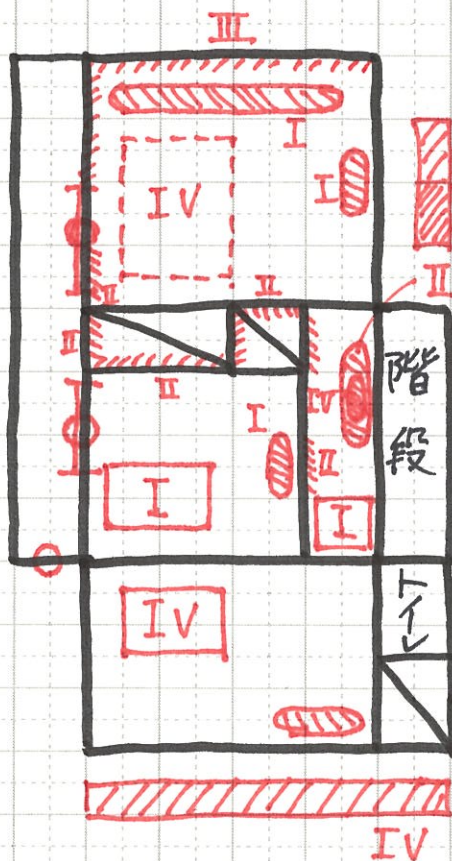
調査票
番号

201806200411

主要階・その他階

(2)階平面図・屋根伏図

7



住家被害認定 調査票 地震 木造・プレハブ 第2次-3	調査票 番 号 201806200411
---	----------------------------

		主要階	その他階	計
8	面積率	(1) 0.7	(2) 0.3	1.0
	床 屋根	(3) 0.5	(4) 0.5	1.0

		主要階							
9	外壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	4
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	計×(1) B 2.8
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
10	内壁	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	2
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	計×(1) B 1.4
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	0	1	2	3	4	5	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
11	床 (階段含)	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	1
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	計×(1) B 0.7
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	柱 (又は耐力壁)	本数(面積率)	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	5
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	計×(1) B 3.5
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
13	屋根	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	5
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	計×(3) B 2.5
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
14	天井	面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	1
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	計×(1) B 0.7
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
15	建具	枚数率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	0
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	計×(1) B 0
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
		損傷の状況							
16	設備	浴室 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能					その他 (左記以外 の水回り、 ベランダ等 4%以内)
	10%	台所 (3%以内)	主要階 その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能					